

土木図書館の運営もすっかり軌道にのり、利用者の数も安定した傾向をみせております。運営の方針を担当する運営委員会も発足当初のメンバーが少なくなり、定常的な運営の時期に入ったことを示しているようです。委員会では、幹事会を設けて簡単なことは事務的に解決し、年に数回開く委員会で重要事項を決定するように方針を変えました。新委員会になってから、8月に幹事会、9月に委員会を開いて、昭和42年度の運営について討議しました。新委員会の任務は、土木図書館に限られた予算や人員の下に、できるだけ利用しやすく、親しめるものとし、土木技術発展のための一つの情報基地に育てることにあると思います。このため、つぎのようなことを考えています。

日本の土木関係の図書は全部集めることはもちろん、いろいろな所から発行される報告書類を前年度に引続き、できるだけ集めておきたいと思ひます。土木学会に行けば報告書が必ず見られる、ということになれば資料センターとして利用価値はずっと上るでしょう。会員の方の所で発行した報告書は必ず土木図書館のために、一部とっておく、というように今後ともお願いいたします。

予算の関係上、外国の関係文献を全部集めることはとてもできません。教科書や雑誌は全国の大学や研究所にありますので、土木図書館に問い合わせれば、文献の所在がわかる、というようになるのも一つの方法でしょう。文献の死蔵のないよう、学会のパイプで情報の流通をよくしたいものです。御手持ちの雑誌のバックナンバーのリストを御送付下されば幸いと存じます。

土木図書館は一種の資料センターです。不思議なことです、日本人は外国の真似が上手といわれながら、外国ではどのようにしているかを調べようとすると資料がそろっていないのです。外国の規格、標準示方書、設計基準といったものがそろっている所は多分ないでしょう。本図書館では現在あまりそろっていませんが、本年度からは、Manual や Standard をそろえておく方針です。時間はかかるかも知れませんが、ゆっくり気長に整備していきたいものです。

文献の内、雑誌のバックナンバーや、他分野のものは

そろえにくいものです。このため、複写サービスを行っています。マイクロフィルムが1枚20円、引延すと、40~70円/枚かかっています。しかも、3日以上かかるので、調べた文献はその場でコピーして持って

帰れると非常に便利になるでしょう。複写機は日進月歩ですので、紙代と少々の経費のみでセルフサービスで複写できるよう操作の簡単な機械を設置することを検討しています。御期待下さい。

定常運転を始める図書館として、利用者の声がやはり一番参考になります。10月から来館される方にアンケートを記入していただくことにしました。どしどし御意見をお寄せ下さい。

今年の夏は大変な暑さで、不快指数からいってもいやな夏でした。土木図書館は冷房完備で天国です。静かに涼しく勉強できるのを夏も終りになってから気が付き、残念でなりません。職場を離れてゆっくりと月に1回ぐらいは過すことも会員の皆さんにお進めいたします。

## 図書館だより

土木図書館運委員会

【綾 日出 教】

## 土木図書館蔵書目録 第1集

先に創立50周年記念事業の一環として建設されました土木図書館の蔵書目録が土木図書館運営委員会の協力を得てこのたび刊行されましたのでご利用下さい。

内 容：図書館規程/同利用規定/分類記号/和書/洋書/国際会議論文集/雑誌/土木図書館フィルムライブラリー  
 体 裁：A5判 タイプ印刷 236ページ  
 定 価：700円 会員特価：600円  
 送 料：100円